

# 「脱出」

台本

## ●音1

- ・「戦争責任—戦後責任—戦後〈発生〉責任」を取らないまま、現在も、この列島は「国民」を自認する者たちの分厚い「帝国意識」で覆われたままである。
- ・日本国家の構成原理と言える「近代化」、「天皇制」、「資本制」... これらは、この150年、元号がいくら変わってもほぼ改められることはなかった。というより、「改元」という行為自体が民衆に対し、民衆自身の力で国家の構成原理を改めることへの諦念を強いてきた。「改元」には、それらの諸「責任」を、過去の元号下の出来事として、封印しようという意図すら感じられる。

- ・しかし、中国からの強制連行被害者である劉連仁(リュウリエンレン)は、それを許さない。1958年—「戦後」13年、終わらない「戦時」を生き続ける者として突如〈発見〉され、列島社会に衝撃を与えた劉。元号が「昭和」から「平成」に変わっても、日本国家を相手に裁判闘争に立ち上がった劉。
- ・劉の存在は、先の諸「責任」との係わりを最後まで認めなかったかつての帝国大元帥の子孫を未来永劫崇め続けようとする日本国家の在り方を許さず、「令和」という空疎な記号を拒絶する。

## スクリーンに映し出す

### 1. イッタイ何が、起キテイタノダ？

スピーカー

A

「……(言葉なく、ノイズ音)……」

ナレーター

C

誰ノ声ダ？

スピーカー

A

「目には目を、歯には歯をではない。だがしかし、忘れない、忘れることなど ありえない。」

ナレーター

C

何ヲ？ 何ヲ忘レナイノダ？

スピーカー

A

「きみたちがしたことを。どうして忘れられようか。きみたちの祖父が、きみたちの父がしたことを。」

ナレーター

C

何ヲシタノダ？ 何が起キテイタノダ？

スピーカー

A

「きくがいい、チャンや、ワンや、リュウの身の上に乗ったことを。  
…すでに許した。許しはした。  
だが 忘れてしまったと、思ってくれては困る。  
忘れることなど、ありえないのだ。」

ナレーター

C

何が、イッタイ、何が起キテイタノダ？

### 2. 攻めても攻めても減る一方

## ●音2

クロス

C

一銭五厘でアカガミで

D

いのちは一度つきりなのに

C

はたち前から男たち

B

いのちは一度つきりなのに

C

「いってきます」と男たち

A

いのちは 一度つきりなのに…

ナレーター

D

いくさにつぐいくさで、大日本帝国は、膨張し 大きく膨れあがった。  
小さな島から、攻めに攻め、信じられないほど、広い地域で、  
大日本帝国は、ふんぞりかえった。しかし…

●再度音2

クロス

C,D,A

B

ふかいふかい 「論語」のくくに攻め込んで  
深みにはまった 男たち

C,D,A

B

大きい大きい 「史記」のくくに攻め込んで  
ひろさに戸惑う 男たち

C,D,A

B

賢い賢い 諸葛孔明にとり囲まれて  
ねばりに戸惑う 男たち

ナレーター

A

光りかがやく雲のうえに祭られる兵隊。  
いくさで死ねば、まぶしくて目がくらむカミサマにされる という しくみだった。  
ときどき 兵隊にいった兄貴が、おやじが、息子が、キラキラする勲章に  
かわってかえってきた。  
勲章よりも本人に かえってきてもらいたい。 みんなそう思っていたはずだが…

クロス

D

A

C

D,A

働く人手は 減る一方  
子どもの腹は 減る一方  
いくさは 戦争ごっこじゃない  
殺しに殺し 殺される  
ああ…果てしない泥沼だ

3.〈うさぎ狩り〉とカモフラージュ

ナレーター

D

ナレーター

C

1942年、「華人労務者内地移入に関する件」、閣議決定。

石炭を掘る炭鉱に、鉄鉱石掘る鉱山に、地下の仕事に荷物はこびに、  
人手は全く 足りなくなった。

どうしたものか…

そこで、…商工大臣・岸信介は考えた。

男声ソロA

D

「大陸には 金のかからない労務者が、いっぱいいるではないか。 中国人を  
集めてこい！」

男声ソロB

A

「しかし どうやって チャンや ワンや リュウを 集めるんですか？」

男声ソロA

D

「決まってるだろ！うさぎ狩りのやりかただ！」

クロス

C,D,A

C

A

D

C,A

B

大きく まあるく とりかこむ  
銃剣構えて とりかこむ  
つつさき 向けて とりかこむ  
「撃て！」  
ダダダーン  
逃げ廻るひと ひと ひと  
どっちへいっても  
逃げみちはない

A

C

追われる先は ただひとつ  
ふさがれた 檻のなか

A  
C,D,A  
全員  
奴隷にされる 網のなか  
<うさぎ狩り>は くりかえされた  
<人間狩り>は 何度も何度もくりかえされた

男声ソロA  
D  
<募集>といえば 聞こえはいいが  
逃げみち ふさいだ 奴隷狩り  
<指紋>をむりやりとってしまえば  
それが<契約>ということさ。

●音楽3

4.このひとときは誰のもの

ナレーター  
C  
集められた農民たちは、みんなじゅずつなぎ  
縛られて、カーキ色の服 着せられて  
兵隊に、捕虜に、したてられ、  
逃げようとするものみなごろし  
飢え死に、凍え死にも 多かった。  
日本の港に運びこまれたもの 約4万  
九州から北海道まで 135の事業所で  
飢えと監視と暴力のなか 強制労働が始まった。

クロス  
A  
銃の脅しで さらわれて  
それから ひにちが 同じでない  
D  
ふねの 穴ぐらに 押しこめられ  
それから ひにちが 同じでない  
C  
いちにち いちにち 区切れない  
いちびょう いちびょう 区切れない  
A  
むりやり 仕事を おしつけられ  
それから 時間が きざめない  
C,D,A  
時間は すべて ひとのもの  
まいびょう まいびょう ひとのもの

5.どこから命(めい)は下された？

ナレーター  
B  
ひろい中国大陸から、おびただしい数の 農民あつめた奇襲作戦  
別れを告げる いと間もなく 身ごもった妻から 引きはなされたひともいた。

クロス  
C,A  
だれが二人を 引き裂いた  
A  
銃剣が その血しぶきが  
C,A  
リュウさん チャンさん ワンさんを  
A  
愛するひとから 引き裂いた  
C,A  
だれが 銃剣使ったか  
C  
だれが 使えと命じたか  
A  
どこから 命は下された？

## 6.侵略思想のよりどころは

ナレーター  
D

「華人労務者に関する指示」  
ひとつ、華人労務者を内地に移入し、以て大東亜共栄圏建設の遂行に、協力せしむべし。  
ひとつ、宿舎外に七尺の塀を設け、出入り口は施錠すべし。  
ひとつ、食糧は一日250もんめ以下とし、不良者は減食すべし。  
ひとつ、入浴の設備は、その必要、なし。  
ひとつ、彼らに親切心、あるいは 愛撫の必要、なし。

クロス

C 苦しい仕事 危険な仕事は  
D すめろぎを うやまえぬものに やらせろ  
C かしわでを 打たぬヤツらに やらせろ  
D やまとことばを 使えぬヤツらに おしつける  
C みそぎなど 分からぬヤツらに おしつける

男声ソロ  
A

やつらに言わせろ  
「テンノーヘーカ…バンザーイ」

クロス

C,D だれかを奴隷にするときにや  
少しは心が痛むもの  
D 許しをえなくちゃ いばれない  
C,D 救いをえなくちゃ いばれない  
C あいつら 下等と のたまわる  
D あいつら 下の下と のたまわる  
C 天の み声が 欲しくなる  
C,D おすみつきが 欲しくなる

男声ソロ  
A

きっと陛下が それをお望みになるに 違いない  
「テンノーヘーカ…バンザーイ」

クロス  
C,D

「テンノーヘーカ…バンザーイ」

## 7.このままでは殺される

ナレーター  
C

ここは 北海道 山の中  
朝、暗いうちから 夜、暗くなるまで  
穴の中 カンテラつけて 一日中 電気ドリルで 石炭掘り  
日本語の指示が分からないと、スコップで殴られて…

ナレーター  
A

気絶する…。  
暗い坑内に 悲鳴とうめき声が 響かない日はなかった。

男声ソロA

「なにをなまけてやがる。 パアン(手を叩く) もっと働け。」

D

男声ソロB 「ヒイツ。 ウツ。 イダイ、イダイ…」

A

ナレーター  
C

このままでは いずれ  
使い捨てられ 殺される  
殺されるか、死ぬか…  
死ぬか、殺されるか…  
それなら いっそのこと…

## 8.「脱出」行

### ●音4

ナレーター  
C

監視の目をぬすみ、ひとりが逃げた。  
雪は 足跡を辿られやすい。  
掴まえられて、即リンチだ。

それでもまた、もひとり逃げた。  
銃があしあと 追っていく。  
掴まえられて、みせしめのリンチだ。  
…しかし、つもの思いは、押し殺せない。  
ひとり、またひとり、脱出はつづく。  
そして…

男声ソロ  
A

リュウリエンレン(劉連仁)、あなたも、そのひとりだった。

クロス

C

D

A

C

C,D,A

ここは敵国 鬼のくに  
見つかったなら 殺される  
こえだめの底 くぐりぬけ  
糞尿まみれになりながら  
闇に紛れて逃げだした

A

やがて…  
五人のなかまが 三人に  
三人のなかまが  
リュウリエンレン(劉連仁)  
あなたひとりに なっていた。

C,A

ナレーター  
C

ひるまは ひっそり身をひそめ  
暗闇のなかで 大木の  
みきにさわると 苔むしてる  
苔むす側が 光を浴びる南側

ナレーター  
B

あなたは…  
夜になると 闇に紛れ  
北へ 北へと 歩いていった  
ふるさとの シヤントンめざして

中国とは陸続き  
北へ廻れば その先は きっと中国シャントンに 帰れるはずだと信じてた。

山また山 峰また峰  
野ニラを噛み締め 「山白菜」かじり 毒キノコにのたうち…  
けものうなりに 怯えつつ 猟師も入らぬ山奥を たったひとりでさまよった。

男声ソロ  
D

1945年8月15日…  
戦争が 終わったことも知らないで

●音5

9.じぶんの影だけ

男声ソロ  
C

たよれるものは 何もなく 穴から穴へ 一人きり 星をあいてに つぶやいた  
たよれるものは 何もなく 穴から穴へ 一人きり 草の根かじって 生き延びた  
たよれるものは 何もなく 穴から穴へ 一人きり 闇のこだまに おののいた

10.雪・風・海—絶望の果てに

●音6

ナレーター  
B

北の短い秋は過ぎ、吹雪き始めた空。  
捨てられた スコップたよりに  
穴を掘り抜き 掘り抜いて  
雪穴の中 大きな身体を閉じ込めた。

クロス  
D

おおいかぶさり 眠らせる  
冷たい雪はおそろしい  
生きる気力を奪いとる

C,A

D

吹きつける するどい刃先  
北風は とがったナイフ  
生きる気力を切り刻む

C,A

ナレーター  
B

やっとの思いで冬を越し あなぐら暮らしで弱った足腰  
よろめきながら 北へ北へ 目指した故郷シャントン省

地図写真

男声ソロ  
C

ああ 地続きではなかったのか  
くにへは もう帰れないのか

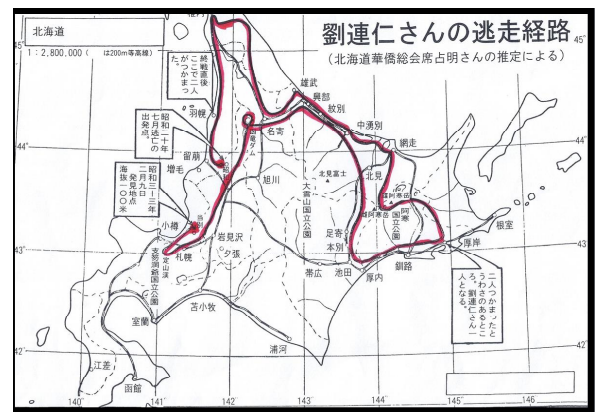
クロス  
D

渡りきれない 隔ての海に  
幾度も幾度も ゆく手阻まれ  
そのたびに…  
生きる希望は消え失せた

C,A

ナレーター

こうして あなたは うちひしがれ



B  
絶望を繰り返す  
それでも...

クロス  
C,A

C,A,D

孤独と飢えと寒さの中で  
たったひとり 穴の中  
帝国ニッポンと対峙し続けた

### 11.まだ見ぬ子をおもう

ナレーター  
B

闇にまたたく星をみて  
あなたが 思わぬはずがない  
別れた妻と お腹の中にいた まだみぬ愛のかたみを  
我が子の 伸びる はねる はしゃぐ姿を

男声ソロ  
C

遠くに 見える あれは 子どもか...  
生きてれば わが子も 同じ 年ごろ...  
いや...これは、まぼろしだ

### 12.消えたあなた

ナレーター  
A  
D

A  
●音7

中国大陸・シャントン省では、あなたの妻が、あなたを思い、ずっと待ちわびていた。  
日本軍の威力は、次第に点と線になり、  
そのうち点だけになり、いくさに敗けて 引きあげていった。  
そのあいだ、ずっとあなたを思いつづけるひとがいた。

女声ソロ  
B

近所の葬式 招かれて 出かけたあなたが帰らない。  
おなかの子どもは大きくなり 月が満ちて 生まれたわ。  
けれど 知らせひとつなく あなたの姿は 消えたまま

消えたあなたは われらのくらしを 百姓の手で建てなおそうと  
八路軍に入ったのか。  
いえ それならそれで 何か 言いのこすはず

いくさが終わり ちらほらと 連行されたひとたちも  
テンノーのくから 帰ってきたわ。  
けれど あなたは消えたまま

子どもは しだいに大きくなり 国家の仕組みも 変わったわ。  
けれど 知らせは絶えたまま  
あなたは 今も帰らない。

### 13.ただ一つ覚えていた日本語

クロス  
C,D

C  
B  
D

連行され 脱出してから あしかけ 14 年、 1958 年 2 月  
あなたは とうとう「発見」された。  
札幌に近い 当別の山で  
日本人の 猟師によって

男声ソロ  
A

発見写真

「ここにいたぞ…」

クロス  
B  
D  
B

おどろき 身構え ふるえる あなた  
そのとき あなたは 思わず発した  
身体に染みついた たった一つの 日本語



昭和33年2月9日、北海道の当別の山の中で発見されたときの劉連仁

男声ソロ  
A

「イダイ! イダイ!」

## 14. 日本国家は変わったか

ナレーター  
B

リュウさん…  
リュウさん あなたは 穴から 出てきた  
けれども…  
あなたは 日本人が 変わったと とても 信じられない  
あなたをはこんだ 病院で 手当てを受けさせようとすると ヤツらは言った。

男声ソロ  
D

「スパイかもしれん 上役に聞いてみないとな…」

ナレーター  
C

ヤツらは言った。

男声ソロ  
D

「不法入国かもしれん 上司の判断を仰いだほうが…」

ナレーター  
C

国家の責任を口にすると ヤツらは言った。

男声ソロ  
D

「契約で来た労務者で 勝手に逃げかくれしていたものには  
くにお帰り願うほか ないでしょう。 とりあえず上司に相談致しまして…」

ナレーター  
B

あなたは 日本人が 変わったと とても信じられなかった。

A

あなたたち大陸の農民を 〈うさぎ狩り〉すると決めたのは  
時の商工大臣・岸信介  
月日は巡り… あなたが「発見」されたときには  
あらぬことか そのA級戦犯が 頂点極める権力者  
恥知らずの総理大臣になっていたのだから

「戦争責任という文学的な言葉のアヤについては お答え申しかねる」…  
かつての帝国大元帥は あのころのことには 口をぬぐい  
「平和日本」の象徴として 善良な老人を演じていたのだから

それに倣って 大陸で  
強姦 略奪 虐殺 放火 非道の限りを尽くした者も



農民たちに筒先向けて連行し 奴隷労働させた者も  
それらの多くは 口をぬぐって 知らん顔

ナレーター  
B

いったい このくにの どこが変わった？  
リュウさん あなたでなくとも 東アジアの 人びとは  
日本が変わったと 思えるだろうか。

ナレーター  
A

祖父・岸信介を手本にする 安倍が首相のこのくにを  
いったいどう 変えたらいいのか その成り立ちのおおもとから…

全員で

いったいだれが変えるのか？  
この「元号」の上塗り 恥の上塗りにはしゃぐ 列島社会のありかたを？

## 15.時効？ドウシテダ

クロス  
A

A,D  
D  
B  
C

金にものを言わせようとも、過去を買いもどせはしない。  
かくせど、かくせど、かくしきれぬもの——  
それは…  
当事者たちの記憶に 深くきざまれる——  
歴史の山々、歴史の谷間に、深く深く埋めこまれる——

男声ソロ  
D

1958年4月 岸信介 衆議院での答弁より  
「えー、政府として 当時の事情を明らかにするような資料が ございません。  
それを確かめる方法が、実は 現在、ないのであります。  
しかし 本人の意志に反して 強制連行するという  
そういう主旨でないことは 明らかであります。」

ナレーター  
A

日本人は じぶんたちの手で  
戦争犯罪を、虐待を、法律にもとづいて裁こうとはしなかった。  
万事ひとまかせのうちに 歳月だけが過ぎてゆく。 今も…

男声ソロ  
C

ジコウ？…ジコウ？

ナレーター  
A

そう、時がたてば、いろいろな犯罪は、裁きにかけにくくなる。  
しかし1966年、国連総会は、時効をあてはめない条約を採択した。  
時効は無効と決めたのだ。

男声ソロ  
C

ナンニダ？ ナンニ対しての時効ダ？

ナレーター  
A

「戦争犯罪と 人道に反する罪 に対する時効—それには時効はない。」とした。  
しかし、日本政府は、この条約に、署名も批准もしていない。  
すべてを時効で 済ませたいのだ。

男声ソロ  
C

ドウシテ？ ドウシテダ？  
「国家無答責」？「国籍条項」？「条約による個人請求権放棄」？  
どうして それらが 戦争時の国家犯罪免責の 理由になるのだ！  
海のむこうから、心の奥底から、同じ問いかけが 溢れてくる。

何度も、何度でも。

## 16. 果てしない波を渡りつくすために

コロス

B

かつて魯迅は言った  
「果てしない波をわたりつくして兄弟がある」と

D

しかし…

A

果てしない波は 軍国日本が起こした波 果てしない暴虐・虐殺の波  
その波を どうして たやすく渡りようか

D,C,A

軍国日本のその根っこを  
断ち切ることさえ できぬまま

女声ソロ

B

リュウさん

あなたはたった一人で 穴の中で 軍国日本と対峙した。

穴を脱出してからも 罪を認めぬ日本国家と闘った。

闘うつもりで波を渡り 故国へと帰っていった。

男声ソロ

D

帰国を前に、あなたは「声明」を発する。

「日本政府は 私を不法に拉致し、連行し、虐待した事実を認めようとしておりません。しかし、私自身が生きた証拠であります。これは、古い国際的犯罪を隠そうとして、新しい国際的犯罪を犯しているものであります。強く抗議します。」

ナレーター

B

あなたはあきらめない。

日本政府を相手に裁判を起こす。

リュウさんが起こし、息子が引き継いだ裁判は、2007年、ようやく結審する。

しかし、強制労働の事実と その違法性は認めても、

国家の賠償責任は ついに認められることはなかった。

A

その後も続く いわゆる「戦後補償裁判」。

幾多の 中国人や朝鮮人からの提訴に対し

日本の司法は 国家の賠償責任を ことごとく退けている。

コロス

C

そのとき われらは何をしていたか

B

わが内なる「帝国意識」は

D,C,A

自らの手で根絶できたのか

C

B

この列島と大陸は そして半島は

D,C,A

今なお 果てしない波に

遠く隔てられたまま…

A

全員

果てしない波を渡りつくすため

今 われらに必要なのは…

B

全員

果てしない波を渡りつくすため

今 われらに必要なのは…